

弘前金魚ねぶたを作ろう!!

白壁守る会 参加者募集 7月23日から3日間、全6回の体験会

柳井市の伝統的民芸品「金魚ちようちん」のルーツと言われる青森県弘前市の伝統工芸品で「金魚ねぶた」の制作体験会が7月23日、8月9・13日の3日間、白壁の町並みにある飲食店やないうで行われる。現在、参加者を募集している。

今夏、柳井金魚ちようちん祭り(本祭)が3年ぶりに開催されることを受け、市観光協会が祭り期間中に「金魚ねぶた」や「弘前ねぶた」

を制作装飾する企画を立ち上げており、今回その一環として、市白壁の町並みを守る会が体験会を企画した。山口きらめき財団の助成金を活用。

開催日時は、

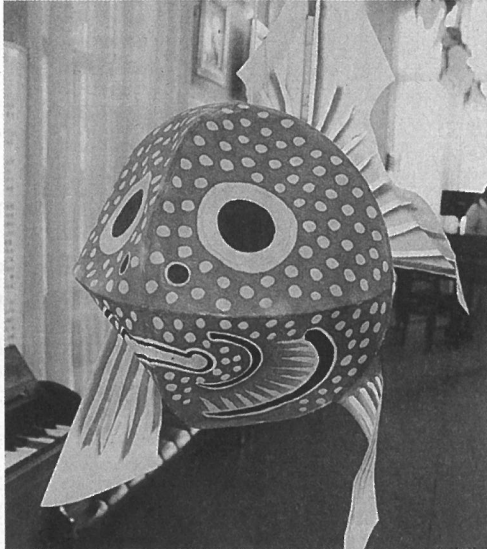
◎7月23日(土) 10時30分～11時30分、14時～15時

◎8月9日(火) 10時30分～11時30分、14時～15時

◎8月13日(土) 14時～15時、16時～17時の全6回で定員は各

柳井の金魚ちようちんのルーツ

回とも12人(先着順、予約優先)。体験料は、1色付けし、ひれなどの装飾を行い、直径12セ



500円(甘露醤油ソフトクリーム付き)。体験内容は、弘前市の職人さんから直接、オンライン指導を受けながら、3色の染料で色付けし、ひれなどの

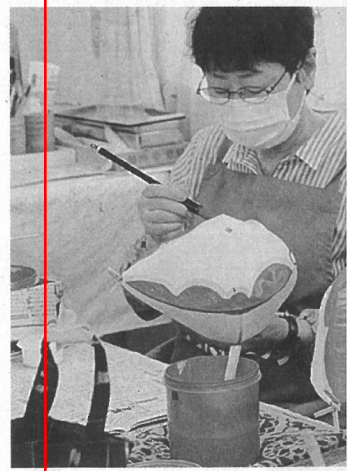
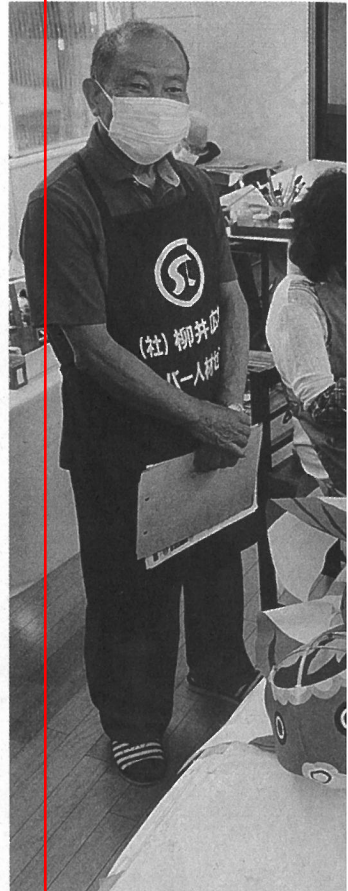
ンチ、高さ20センチを制作する。体験時間は約1時間。申し込みは、体験者氏名、年齢、希望日時、連絡先電話番号をメールに記載し、

mailto:mtsugi1010@x3g.hokkaido.jp まで送信のこと。問い合わせ先は、事務局(☎090・6838・8590)まで。

【金魚ねぶた】

弘前ねぶた祭りなどで運行する金魚型の山車や灯るうのことで、江戸時代に津軽藩で飼育されていた金魚「津軽錦」をモチーフに作られたのが始まりと言われている。

(写真は体験会で制作する弘前の金魚ねぶた)



交通安全願

柳井署 園児の短冊

柳井市南町2丁目の柳井警察署、山根保宏署長(は5日から7日までの3日間、庁舎1階ロビーに、「交通安全七夕飾り」を展示し、来訪者の心を和ませた。夏運動会訪者などに交通安全を高めても交通課が企画恒例の行事。ロビーにはランテアか

